

こうせい

第62号

令和4年1月

発行 高知厚生病院
広報委員会

◆ 高知厚生病院グループの理念・基本方針 ◆

理 念

敬天愛人

基本方針

1. 地域の皆さまの尊厳を護り、心の通う医療と介護を実践します。
2. 自己研鑽に努め、自らと組織の発展向上を目指します。
3. 地域連携を進め、効率的に働きます。
4. 地球環境に留意し、災害に備えます。



新年のご挨拶



院長 山口 龍彦



2022年の新しい年が始まりました。オミクロン株の不気味な動きが気になりつつ、県内では新型コロナ患者の発生がほとんど報告されない年末年始でしたので、久しぶりに羽を伸ばす気分の方もおられたことでしょう。

昨年の秋、日本ではデルタ株の不思議な終息という現象がありました。諸外国がまだまだデルタ株に打ちのめされているような時に、日本だけシュルシュルと感染者数が減少していったのです。そしてほとんど患者がいなくなっていました。専門家もその理由が説明できず困っていました。

iPS細胞でノーベル賞を取ったことで有名な山中伸弥先生は、日本にはファクターXがあるとしか考えられない。だが、そのファクターXが何かはよくわからない。これを知ることによってコロナ対策が前進するはずだ。と述べられています。

このファクターXは、日本人が毎日入浴する習慣を持っている人が多かったりなど清潔好きなことや、マスクをする習慣が以前からあり、マスクを忌避する人がほとんどいないこと、真面目に装着している人がほとんどであること、握手やハグなど欧米では欠かせない挨拶は日本ではしなくて事足りることなどのほか、日本人の遺伝的素因やBCG接種との関連などもあるかもしれないといわれています。

私には良く分かりませんが、この不思議な現象をもたらしたファクターXとは「日本が神様に守られている」ということだろう、と考えることにしました。もしそうならば、オミクロン株の蔓延も諸外国と比べれば軽く済むだろうと期待しています。

今年はどんな年になると思いますか。世界がオミクロン株の猛威に晒されている中で、日本が一人助かる、あるいはさほど蔓延せずに軽く済むということがありうるのでしょうか。

私は、日本国中にオミクロン株が拡がらないようにと、初詣で神様にお祈りして参りました。どうか、オミクロン株も早く終息に向かいますように。日本が守られますように。皆様が健康を取り戻し、天寿を全うできますように。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

日野原重明先生に与えていただいたこと

Part 2 院長 山口 龍彦

ピースハウス病院の落成

日野原先生がこのような千載一遇の機会を与えてくださったことで、私の医師としての仕事の場は大きく変わりました。この2週間のアメリカでの体験・学びがなければ高知厚生病院のホスピス開設は多分なかったことでしょう。

この旅行の1年後、日野原先生は神奈川県の高知市を望む風光明媚なゴルフ場の一角にピースハウス病院という独立型のホスピスを開設されました。82歳にして新しいチャレンジを始められたのです。このホスピスはオーストラリアのパー스에あったコテージホスピスをモデルにした大変立派なホスピスです。そこには、ホスピス研究所も併設され、そこでは現在に至るまで多くの人材を育てていられています。

ボストンへの旅から2年後、再び日野原先生のツアーに加えていただいてオーストラリア（パーズ）、ニュージーランド（ウエリントン）、シンガポールの特徴あるホスピスを見学させていただきました。この旅行は、パーズのコテージホスピスへのお礼参りを兼ねていました。日野原先生は日本から高価な有田焼の壺を持参し、コテージホスピスにプレゼントされました。重いし、嵩張るので持参するのは大変だと思うのですが、厭わずそうされたのです。

日野原先生はどこへ行っても最大限の歓迎を受けるのです。それは、ご自分のことは二の次にして、常に与える側の人だからだということが分かりました。

日野原先生と過ごす時間

日野原先生は旅行中の乗り物の中では休まれることはほとんどなく、私たちに様々なことを語って聞かせてくださいました。バス・イスラエル病院の小型のバスに乗ってニューヘブスや郊外のホスピスに出かける時は、ボストンでは五月にハナミズキが咲くのが日本の桜に似て綺麗なんだとか、聖路加病院を新しく立てる時には大きな災害を想定して酸素と吸引の配管を廊下にも設置しているんだとか（この頃ちょうど院長として病院建て替えの陣頭指揮をとっておられたようです）、ピースハウス病院の土地を寄付してもらった経緯など興味あるお話をふんだんにお聞きすることができました。

行き帰りの飛行機の中でも休まれることはなく、ほとんどの時間を執筆や礼状作成に当てておられました。80代にしては超人的なバイタリティです。一生の間に英語での出版も含めて300冊の本を執筆される方というのは体力も人並外れています。しかし、これはやはり努力によるものだということもわかりました。

重いカバンを持って差し上げようとしたら持たせていただけませんでした。自分はそんなに歳をとっていません、とは仰いみせんでしたが、自分で持って歩いて体力を鍛えたいからでした。体力を鍛える機会を奪われることは我慢がならないのです。

いつも重いカバンを持って、空港内の長い距離を「動く歩道」に乗らずにその横を歩かれます。動く歩道の人を早足で追い抜いていくことを喜びとしているのです。体力が衰えないようにするにはどのような努力が必要かが分かりますね。そのような努力の積み重ねがあって、105歳まで現役生活を続けることができたということです。

終わりに

この拙文によって、我が師と仰ぐ日野原重明先生が、努力の人、与える人であったことを伝えることができたなら嬉しいと思います。聖路加病院においてもエレベーターを使わず階段を使うことで足腰を鍛えられていたといひます。彼より若い人（つまり病院スタッフ全員）の中には、エレベーターを使うのに後ろめたさを感じる人もいたことでしょう。

筋力は若さを保つためには重要であること、これは日々自分を甘やかさないで鍛え続けなければ保てないことを今回は主にお伝えしたいと思いました。70歳を超えてから、執筆活動に拍車がかかり、80代、90代でも衰えを見せず、さらにテレビ出演もどんどん多くなりました。その体力の源泉は、足腰を鍛え続ける努力であったと思います。

蛇足になるかもしれませんが、高知厚生病院のホスピスが始まって5ヶ月後、1996年の2月高知緩和ケア研究会主催で日野原先生のご講演会、演題「これからの医療と愛」を高知県民文化ホールで開催することができました。その時に、高知厚生病院に立ち寄っていただき、当院のホスピス（当時9床）を見ていただくことができました。私は日野原先生に少しだけご恩返しできた気がしたものです。

さて、もし、機会があり許されるなら次回は105歳まで現役で執筆もご講演もされておられた日野原先生が何を食べておられたか、その食生活について書かせていただこうと思っています。

掲示板

HPブログ開始

広報委員会

高知厚生病院のホームページにて、ブログを始めました！
トップ画面右下にある「こうせい広報誌＆ブログはこちら」からご覧いただけます。

■ お知らせ・新着情報

- 2022.01.11 [《更新》各病棟・施設の面会制限について](#)
- 2022.01.06 [「こうせいブログ」を更新しました](#)
- 2022.01.06 [職員募集を更新しました](#)
- 2022.01.04 [「健診センターだより」を更新しました](#)
- 2021.12.07 [年末年始休診のお知らせ](#)
- 2021.12.06 [《更新》12月休診のお知らせ](#)

職員募集

**発熱・風邪症状
で受診される場合
のお願い**

こうせい
広報誌＆ブログ
はこちら★

こうせい

▶ 令和4年1月12日（水）グループホームこうせいお正月行事

1月1日、グループホームこうせいでは、利用者さまとお正月飾りを作成しました🎍
ひとりひとり素敵な作品が出来上がり、「楽しかった」「お正月らしくて良いね」と大変喜んでいただきました。



また、お正月の行事食も出されました。
ちくわとインゲンで🎍門松を再現🌟
スタッフの真心が詰まっていました(^^)

今年も院内情報を発信してまいりますので、
こうせいブログを覗きにきてくださいね(^^)／

▶ 令和4年1月6日（木）新年明けましておめでとうございます

みなさま、新年明けましておめでとうございます。
地域の皆さまのあたたかなご支援のもと、高知厚生病院は今年も無事に新年を迎えることができました。
いまだ出口の見えないコロナ渦の状況ではありますが、その中でも成長と工夫を重ねて、より良い医療の提供と地域への貢献を貫いてまいります。



院内での行事・イベントや日々の活動を、様々に発信しております。
その他の内容も充実させていきたいと思っておりますので、ぜひご覧ください。



栄養課クリスマス献立

栄養課 管理栄養士 穴澤 誉子



献立

炊き込みピラフ
煮込みハンバーグ
野菜サラダ
パンナコッタのマンゴーソースかけ

美味しい、季節感のある献立を栄養課内で話し合い、患者さま、利用者さまに喜んでいただけることをモットーに考えられています。皆さん、非常に喜んで食べてくれました。

院内行事

12月22日 3階老健クリスマス会

介護老人保健施設こうせい 介護主任 西川 豊和



令和3年12月22日に介護老人保健施設こうせいの多目的ホールにてクリスマス会を開催しました。

マジックショーや、ハンドベル、キャンドルサービス、サンタさんからのプレゼント等々、内容盛りだくさんで、利用者さんも楽しまれていました。

来年もみなさんに楽しんでいただける企画を考えていきたいと思います。

12月24日 4階緩和ケア病棟クリスマス会

緩和ケア病棟 介護員 田辺 昌子



令和3年12月24日に緩和ケア病棟にてクリスマス会を開催しました！患者さんやご家族の方も参加してくださり、たこ焼やホットケーキを食べて楽しまれていました。

今年は事務方の職員の皆さんがハンドベルを披露してくださり、おおいに盛り上がりしました。

院長サンタクロースからのクリスマスプレゼントも配られ、患者さんも突然やってきたサンタクロースに驚きながらも、とても喜んでいただきました。

12月27日 通所リハビリテーションクリスマス会

通所リハビリテーション 介護福祉士 高橋 真智子



令和3年12月27日に通所リハビリテーションにてクリスマス会を開催し、利用者さんたちと「きよしこの夜」「一月一日」などクリスマスやお正月の歌を歌いました。クイズやハンドベルも利用者さんと一緒に盛り上がり、「楽しかった」「ありがとう」と喜んでいただき、我々スタッフもとても嬉しかったです。

リレーコーナー

こじゃんと気にいっちゃう

緩和ケア病棟 師長 井田 理恵

私のお気に入り

当院の庭園です。

冬に力を蓄え、春は桜の桃色、夏は青葉の緑、秋には紅葉・銀杏の赤・黄金色と鮮やかで穏やかな表情と鳥の声、セミの鳴き声 私のお五感をくすぐり穏やかな気分させてくれます。

入職30年あまり 病院の増改築に伴い園庭は色々な姿に変化していきました。

これからも園庭に癒されながら、私も人の癒しになれるよう年輪を重ねていきたいと思うこの頃です。

次回は看護小規模多機能型居宅介護 岡林智徳さんお願いします。



新型コロナウイルスワクチン接種（追加接種）について

当院では、新型コロナウイルス感染症の拡大を予防し、死亡者や重症者の発生をできる限り減らすため、現在、国および県、各市町村と連携しながら「新型コロナウイルスワクチン」の住民接種の体制について構築し、安心、安全で迅速な接種体制を目指しています。

市町村より接種券付き予診票が届きましたら内容物をご確認の上、下記方法にて予約をお願い致します。

予約方法



各医療機関での予約や問い合わせは行っていないので、**高知市コロナワクチンコールセンター（Tel 0120-920-737）**か、インターネット予約になります。

※いずれの予約方法でも接種券に記載の券番号（10桁の数字）とパスワード（8桁の生年月日）が必要です（マイナンバーは不要）

健診センター便り 新年号

新年、明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

今回は『胃がん』についてお話させていただきます。胃の壁は内側から粘膜、粘膜下層、固有筋層、漿膜（しょうまく）下層、漿膜の5層で成り立っています。

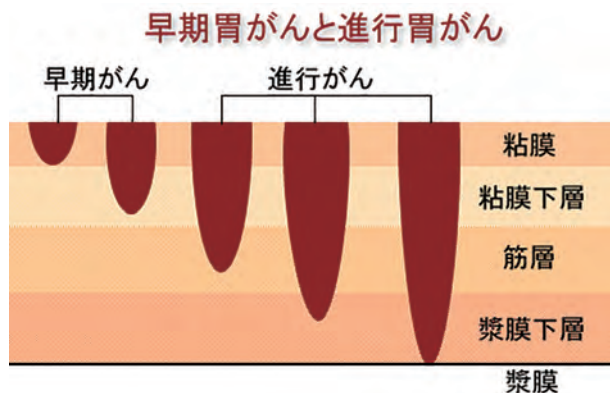
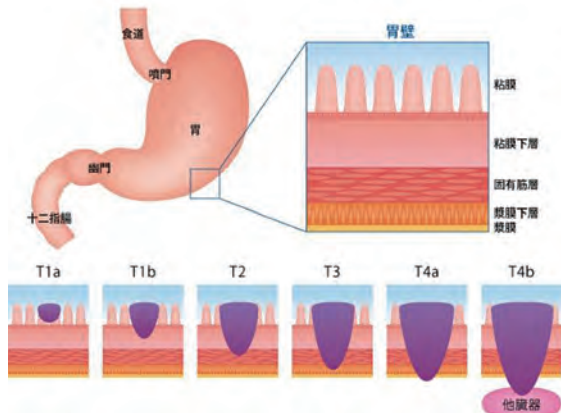
胃の悪性腫瘍の95%以上は、胃の粘膜から発生します。『早期胃がん』とは、腫瘍が粘膜下層内までの増殖に留まるもので、それより奥まで増殖したものは『進行胃がん』と呼ばれます。粘膜は血管やリンパ組織が乏しいので、転移を起こす可能性は非常に低いですが、それ以上の増殖になると転移の確率が上がります。

『早期胃がん』に関しては、内視鏡で腫瘍の切除が可能です。現在はESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）の開発進歩より、腫瘍の一括切除と安全性が確立されています。手術よりも体への負担が少なく、胃の内容量の減少もありませんので、術後の食事でも困ることもほとんどありません。術後の経過観察は必要となりますが、再発は非常に稀です。

胃がんの腫瘍マーカーとしては、『CEA』『CA19-9』が代表的なマーカーになり、がんの治療効果や再発の判定に役立ちます。ただし、腫瘍マーカーが正常範囲内にもかかわらず、進行胃がんの患者さんもしばしば見受けられるので、腫瘍マーカーに対して過信することはできません。現在胃がん検診で一番信頼されているものが『内視鏡検査』なのです。

昨年（令和3年）の当院における協会けんぽの健診は763名、胃がん検診は15名受けられ、1名の早期胃がんの診断となっています。ここ数年においても、腹部への症状がない方も内視鏡検査にて早期胃がんと診断される方が年に1名以上見つかります。ぜひ、次回の健診の機会に内視鏡検査を受けられてみてはいかがでしょうか。

本年も高知厚生病院健診センターをどうぞよろしくお願いいたします。



当院は
平成15年9月22日より
日本医療機能評価機構
認定病院となっております。



◆ 特定非営利法人
日本緩和医療学
会より認定研修
施設として認定
されました



◆ 厚生労働省より
医師の卒後臨
床研修施設の
認定を受けまし
た

編集後記

広報委員にもフレッシュメンバーが参加してくれる事になりました。今までと違う角度で、当院の魅力を発信できればと思っています。本年もよろしくお願いいたします。
A・I



高知厚生病院

〒781-8121 高知市葛島1丁目9-50 Tel.088-882-6205 Fax.088-883-1655
ホームページ <http://www.kochi-koseihp.jp>

- 介護老人保健施設こうせい ■ 通所リハビリテーションこうせい
Tel.088-882-6205
- 訪問看護ステーションこうせい ■ 高知厚生病院健診センター
Tel・Fax.088-885-6714
- 居宅介護支援事業所こうせい
Tel・Fax.088-885-5779

医療法人 山口会

こうせい

〒781-8121 高知市葛島2丁目5-12 Tel.088-802-5530 Fax.088-802-5531

- 看護小規模多機能型居宅介護こうせい ■ グループホームこうせい